

コト)の妻とされる女神。

木花咲耶姫命には一夜で懐妊し後に出産を終えたと伝説があり、見尊を御安産になったのを非常に喜び給い、狭アメノタムを・名田の茂穂を以て「天甜酒」を造ってお祝いなされたと日本書記に載って居りますが、是が穀物を以て酒を醸した始まりです。

大山祇神を酒解神、木花咲耶姫命を酒解子神と称し祀られています。

4) またげ石

また境内には「またげ石」と呼ばれる石があり、この石をまたぐと子宝に恵まれると言われていています。

木花咲耶姫命が瓊々杵尊との間に、彦火々出見尊(ヒコホホデミノミコト)を無事に出産したことに大山祇神が喜び、米から酒を造って祝福。これが酒造の始まりとされています。



5) 屋根の瓦の紋にも注意を



瓦の紋章は、その神社の家紋や生い立ちを表示しています。

屋根の獅子口、丸軒瓦など全てに「橘紋」が陽刻されています。

楼門脇の築地塀の屋根には、菊の飾り瓦が置かれ、丸軒瓦には菊花紋が陽刻され、鬼板には九条藤紋が見えます。